

5月30日：投資家の楽観姿勢が強まり上昇

ベトナム株は上昇し、2日連続の上昇となった。一方、外国人投資家は売り越しとなり、相場の重しとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は3.07ポイント（0.29%）高の1,078.05ポイントで取引を終えた。月曜は直近二週間で最大の上昇幅となっており、投資家心理が改善している。

ASEAN証券によると、火曜日の上昇で1,080ポイントの抵抗線に近づいた。1,085-1,090ポイントを試す動きになるだろう。

ユアンタ証券も1,080-1,085ポイントを試す展開になると予想している。同社は今後も上昇トレンドが続くと予想する。

月曜日に発表された消費者物価指数によって国内のインフレが抑制されていることを確認できたことで投資家心理は改善している。GSOによると、5月のCPIは0.01%増に留まった。

192銘柄が上昇したのに対して、128銘柄が下落した。

出来高は9.22億株、売買代金は16.4兆ドンだった。

VN30指数は2.05ポイント（0.19%）高の1,071.82ポイントで取引を終えた。採用銘柄では13銘柄が上昇し10銘柄は下落した。

銀行、不動産、製造業、小売が相場の上昇を牽引した。ベトコムバンク（VCB）は1.5%高となり指数を大きく押し上げた。

マサングループ（MSN）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPTコーポレーション（FPT）、ドゥックザンケミカル（DGC）といった銘柄の上昇も相場の上げに寄与した。

一方、ビンホームズ（VHM）、ペトロベトナムガス（GAS）、ビナミルク（VNM）、ビングループ（VIC）の下落が相場の重しとなっていた。

ハノイ取引所のHNX指数は5日続伸、1.02ポイント（0.46%）高の221.33ポイントで取引を終えた。

ホーチミン市場では外国人投資家は 5,166 億ドルの大幅な売り越しだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。